

### 慶祝

おめでとうございます  
心より祝福いたします

(敬称略)

秋田市長表彰 平成26年7月12日付

◎自治振興(町内会長)  
波多野達雄(楯山字寺小路)

(百石橋通り町内会長)

◎地域保健推進委員会会長  
樋渡 久孝(楯山太田町)

7月12日は「秋田市の記念日」です。

市文化会館で、市の記念日式典が開催され、築山地区からは以上2人の方が表彰されました。

秋田市民憲章推進協議会会長表彰

4月22日付

◎26年度住民活動

神田 武(楯山南中町)

秋田県共同募金会会長表彰

◎優秀地区 4月1日付

築山地区共同募金会

(会長 加藤 俊悦)

◎奉仕功勞

佐々木正次(楯山城南町)

因みに築山地区における至近、3カ年の共同募金の実績は次の通りです。

平成23年度 200万1668円  
24年度 193万2964円  
25年度 190万1745円

※ いずれも歳末募金を除く

26年度はこの10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まります。地区の皆様には、今後とも温かいご支援を賜わりますようお願い申し上げます。

### 会務報告

平成26年3月～平成26年8月

3月1日 「築山協だより第45号」を発行し、町内会長、民生委員の手を借り全世帯に配布

3月19日 共同募金実績報告会に会長と事務局長出席

3月19日 共同募金ブロック会議に会長出席

3月20日 パークホテルで開催された市協Bブロック研修会参加

4月10日 平成25年度会計監査の実施

4月17日 地区役員会を開催し、総会提出議案を審議

4月25日 地区市民憲章推進協議会保健推進委員会と合同で「地区花見とカラオケ」を楯山コミセンで開催

4月26日 定期総会を楯山コミセンで開催し、平成25年度事業報告、同決算、平成26年度事業計画、同予算について審議承認

6月14日 第一回グラウンドゴルフ大会をグラウンドゴルフ友の会の協力を得て築山小学校グラウンドで実施

6月23日 敬老会補助金交付等を市に申請

6月24日 地区社会福祉協議会連絡会総会へ会長、事務局長が出席

6月24日 湯沢市社協で取り組んでいる生活困窮者自立支援事業の研修会へ参加

7月7日 敬老会該当者を民生委員町内会長に調査を依頼

7月11日 共同募金運動資材を市共同募金会に申請

7月12日 第二回グラウンドゴルフ大会をグラウンドゴルフ友の会の協力を得て築山小学校グラウンドで実施

7月17日 ザ・ブーンで行われた市社協主催の「生き生きグラウンドゴルフ大会」に2チーム参加  
8月5日 敬老会の案内を築山小学校を始め各種団体に配布  
8月9日 敬老会該当者に案内状を民生委員の手をかり、町内会長から配布  
8月9日 市協だより第59号を民生委員、町内会長の手を借りて全世帯に配布  
8月10日 敬老会祝宴における演芸等を依頼

### 地区への「芳志」

(平成26年4月～平成26年8月)

○ご香典返し

30万円 (亡父 重明さん)

楯山登町 進藤 史明 様

○篤志

1万円 楯山南中町 加藤 俊悦 様

5千円 南通みその町 高桑 博 様

たくさんのご寄付をいただき厚く御礼を申し上げます。皆様の善意を地域の福祉に役立たせていただきます。ご香典返し、篤志寄付は皆さんが住みの当地区社協にご協力下さいますようよろしくお願いいたします。

謹んで哀悼の意を表します

築山地区社会福祉協議会

前民生児童委員

元理事 吉田 孝導 殿

平成26年4月3日死去・83歳

築山地区敬老会のお知らせ  
当社協主催の恒例26年度築山地区敬老会を次のとおり開催します。満75歳以上(27年4月1日現在)の皆様は町内会長を介してご案内しておりますので、お誘い合わせのうえ、ぜひ御出席下さい。

記

日時 9月16日(火)午前11時

場所 楯山コミュニティセンター

### ◆編集後記◆

第60回孝華書院展が、この8月28日(木)から9月1日(月)まで「アトリオン2階」で開催されている▼本会報の題字「築山協だより」を揮毫された書道家・茂林憲子氏は、伝統ある孝華書院(楯山南中町)の院長として後進の指導、書道の普及に寄与されている大家である。平成23年には秋田市文化章を受章された▼本年度秋田市文化選奨の受賞者(八橋住)は、孝華書院展で発表した書道作品が高く評価されたという▼編集者が立ち上げた「広報築山民児協」の題字も茂林氏。これからは茂林氏の斯界へのさらなる御貢献御活躍を祈念いたします。(北條 晃)

編集委員

北條 晃

加藤 俊悦

樋渡 久孝

樋渡 久孝

連絡先(事務局) 樋渡 久孝

# 築山協だより

第46号

平成26年9月1日

築山地区社会福祉協議会

発行人 加藤 俊悦  
(題字:茂林 憲子)



「いきいき地域サロン」の一群、グラウンドゴルフ友の会メンバーが、築山小学校グラウンドに勢揃い。毎月第2・4土曜日に、ゲーム形式の例会が開催されるが、曜日を違えて楯山公園でも行なわれている。(7面参照)

▼フォト＝樋渡久孝・キャプション＝北條晃

### 「防災マップ」の有効活用を



築山地区社会福祉協議会

会長 加藤 俊悦

本年6月、多年にわたる共同募金の実績向上の寄与により、築山地区共同募金会が、優秀地区として秋田県共同募金会長表彰を受けました。赤い羽根共同募金、歳末助け合い運動での皆様からの温かいご支援の成果が、県レベルで認定されました。各町内会の皆様に深く感謝とお礼を申し上げます。

さて、市社会福祉協議会は、「秋田市地域福祉活動計画」の見直しを行い、これまでの社会福祉の現状と課題、今後5か年を見据えた新規活動も加え、本市社会福祉の指針である「しあわせづくりプラン2014」を策定しました。新しい活動計画では、各地区での町内会長、福祉協力員、地区社協関係者、民生児童委員等が、行政や福祉専門職等と共に連携・協働体制を強化しながら「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を推進することが一層強調されています。

本地区では、そうした趣旨を踏まえ、今年度特別事業として、地域防災・減災・防犯意識を高める基礎情報の提供を目的とした「築山地区防災・防犯ハザードマップ(仮称)」を作成する計画を立てました。

地区代表者が必要書類を整え、「秋田市地域づくり交付金」の申請と審査会での事業等の説明を行った結果、本地区への交付が決定され、現在、前述のマップづくり作業を鋭意進めて参りました。折しも、本年3月に市防災対策課が作成した「秋田市津波ハザードマップ」が各家庭に配布されており、平成24年の「秋田市災害ハザードマップ」やネット配信の「防災カルテ」と付き合わせた情報を築山地区バージョンとして一括集約することによって、近隣や町内会等での研修や訓練の一助にしたいだけのもので存じます。

先の大震災でのいわゆる「釜石の奇跡」は、日頃の綿密な防災教育や防災訓練の不断の積み重ねによる意識と行動の一体化から生じました。この度作成したマップを常時目に留めながら、いざという時の備えのために適宜有効活用していただきたいと思います。

なお、防災にとどまらず、子供たちの安全・安心対策に活用できる機能も加えたマップに仕上げております。(まもなく全戸配布)

これからも、皆様からのご協力をよろしくお願い申し上げます。



# 安心して暮らせるまちづくり推進

## 新市地域福祉活動計画スタート

平成26年度の事業計画や予算などを審議する築山地区社会福祉協議会の定期総会は、4月26日榎山コミュニティセンターで開催、役員・評議員75名が出席しました。

冒頭、加藤俊悦会長から「本年度からスタートした秋田市地域福祉活動計画（しあわせづくりプラン2014）の精神で当地区の事業計画を推進したい」となど挨拶（別稿に要旨）がありました。

## 26年度地区社協 定期総会



### 加藤俊悦会長のあいさつ概要

今後5年間を見据えた新たな「市地域福祉活動計画」が侃々諤々の議論を重ねて策定された。向こう三軒両隣の気持ちでの見守りの強化、特に町内会の活性化も大きくクローズアップされる時代になったので、今後ご協力・ご尽力をよろしくお願ひしたい。

特別事業として、本地区「防災・防犯ハザードマップ」を年度内に作成予定。地域、学校、幼稚園・保育園、各施設等で活用していただきたい。「介護支援ボランティア制度」への参加、「安心キット」の利用について皆様から紹介や啓蒙にご協力を願ひたい。

田孝導お二方のご冥福を祈り、黙とうを捧げました。石郷岡監事の後任には、佐藤秀一氏が指名されました。

議事に入り、樋渡久孝副会長・事務局長から、26年度の事業・決算報告、さらに本年度の事業計画及び収支予算の議案説明があり、いずれも原案通り（3面に概略記載）承認。

また佐々木洋吉築山民児協会長から、救急医療情報キット事業の実績について報告があり、年齢規定の撤廃（別稿参照）も明らかにされました。

日本赤十字社秋田市地区築山分区分区長・妹尾弘氏から「26年度日赤社員増強運動」への協力依頼もありました。

### ◆本年度事業計画の重点目標

- 1、「みんなの福祉をみんなの手で」を26年度も合い言葉に、築山社協は域内の民生児童委員、町内会長、福祉協力員、自主防災組織、老人クラブ等と密接な連携を図ります。
- 2、地域住民が積極的かつ主体的に福祉活動に参加し、誰もが安心して暮らせる「顔の見える絆づくり」の事業を推進、高齢者等見守りネットワーク及び、災害に備えた支え合いの地域づくりに力を注ぎます。
- 3、健康づくり、生きがいづくり
- 4、敬老会の開催と声かけ運動
- 5、児童・幼児の子育て支援活動
- 6、福祉協力員等の学習研修会
- 7、福祉関係・連携団体への助成
- 8、築山社協だよりの発行・全戸配布
- 9、ハザードマップの作成

### 「地域の福祉力」の考え方

#### 秋田市地域福祉活動計画から

この計画は、平成26年度から30年度までの5年間、秋田市の地域住民、行政、関係団体等が一丸となって地域福祉に取り組みするための指針です。

「福祉」は限られた方々のためという救済的な考えから、時代と共に、「赤ちゃんからお年寄りまで、誰もが関係する」ことに変化してきました。健康な人も、障がいのある人も、高齢の人も、生活が苦しい人も、可能な限り自己決定し、自分らしく主体性を持って生活していくことを求めます。地域住民の生活上の悩みや困りごとを抱えている人を、住民相互の協力を基盤として主体的にニーズの解決を図

ろうとする「力」を「地域の福祉力」と表現しています。

解決に向かうための対策や、未然に防止するアイデアをお互いに出し合いながら、できることを、無理のない範囲で、少しずつ力を出し合うことが地域福祉の基本です。

「地域の福祉力」は、地域住民や地区社協、地区民児協だけでなく、地域包括支援センターなど福祉の専門職や地域にある福祉施設との連携・協働も含めることにより、さらに相乗的な効果が期待できます。

結局、地域住民にできること、町内会ができること、地区としてできること、福祉専門職等との連携によりできること、そして市全体でできることを合わせていくことで、秋田市の「地域福祉力」が向上していくのです。

### “介護ボランティア”でお互い元気に!

本紙「第44号」で紹介しましたボランティア制度に、築山地区から12名（男3名、女9名）の方々が登録されています。

65歳以上のかたが、介護保険施設等の受け入れ機関でのボランティア活動を通して、社会参加や地域貢献の機会を得ることで、高齢者自身の介護予防にも繋がる、いきいきとした地域社会づくりを目的とした制度です。

○事前の登録 活動を行なうためには、事前の登録が必要です。市社会福祉協議会が実施する介護活動ボランティア登録講習会を受講していただきます。

○交付金支給 各受け入れ機関でのボランティア活動をして集めたスタンプをポイントに換えると、1年間で最大5,000円の交付金が受けられます。

○お問い合わせ先  
秋田市社会福祉協議会 地域福祉課  
介護支援ボランティア担当  
(☎018-862-7445)  
(受付時間 平日 8:30~17:00)

### 参加しませんか! いきいき地域サロン

#### 築山地区のみなさん! 時には「おたく」の外へ出ませんか。

高齢者の方々を含めた仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりなどを進めるため、地域元気アップ事業として築山社協では、いきいきサロン活動を支援しております。

これは、特に高齢者の社会参加・交流を促すとともに、閉じ籠もりを防ぐ目的もあります。対象とする地域サロングループは別表のとおりです。

みなさん、お誘い合わせてエンジョイしましょう。連絡先は、それぞれの代表者やお仲間です。



太田町ほほえみサロン例会

### 仲間づくり! 生きがいづくり! 健康づくり! いきいき地域サロン

サロンの名称	例会日時	開催場所	代表者・連絡先TEL
グラウンドゴルフ友の会	毎週火・金 午前9:30	榎山公園	佐川喜代四
	毎週木 午後1:00	榎山公園	
	毎月第2・4土 午前9:30	築山小グラウンド	
築山寿コーラス	毎月第1・3木 午前10:00	榎山コミセン	新城 巖
榎山合唱クラブ	毎月第2・4木 午前10:00	榎山コミセン	妹尾 克利
フロアーカーリング会	月・土(不定) 午前9:30	榎山コミセン	佐藤 敏勝
囲碁クラブ	毎週土 午後1:00	榎山コミセン	大島 洋三
太田町ほほえみサロン	毎月第2・4月 午前10:00	太田町町内会館	福井 陽子

### 救急医療情報キット事業

総会における説明主旨

この別名、安心キットは、平成22年度から25年度までに、75歳以上の一人暮らし世帯238セット、80歳以上の夫婦のみ世帯39セット、その他必要と認められた世帯41セット、合計318セットを地区内に配布した。

26年度から、安心キット配布対象者の拡大を図るため、次の通り変更されている。

#### 変更前

- (1)75歳以上の一人暮らし高齢者
- (2)80歳以上の世帯
- (3)その他 安心キットの設置が必要と認められる方



#### 変更後

- (1)一人暮らし高齢者
- (2)高齢者のみの世帯
- (3)その他 安心キットの設置を希望する方
- (例)
  - ・障害のある方
  - ・障害のある方と同居している高齢者
  - ・健康に不安のある方
  - ・日中一人暮らし高齢者
  - ・災害時等、自力で避難が困難な方

※編集部注 この事業は、高齢者等がかかりつけ医療機関や、持病、連絡先など救急時に必要な「安心カード」を簡型（写真）の容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管して不安軽減を図ること、地区民生委員の協力を得て無料配布を実施しております。「キット」とは、道具一式という意味です。



# 築山地区社会福祉協議会の 会計報告

## 平成25年度決算及び平成26年度予算

収 入

単位：円

科 目	25年度決算額	26年度予算額	予算に対する内容説明
1 会 費	1,123,920	1,116,000	360×3,100世帯
2 共同募金一般配分金	897,880	888,940	25年度地区共同募金実績による配分
3 友愛訪問事業交付金	141,818	141,818	見守りネットワーク事業
4 助 成 金	1,233,138	1,205,000	地区福祉活動 496,000、元気アップ他 709,000
5 補 助 金	1,587,000	1,550,000	敬老会市補助
6 寄 付 金	130,000	100,000	
7 諸 収 入	1,288	3,810	預金利子他
8 繰 越 金	1,095,848	634,432	平成25年度からの繰越
合 計	6,210,892	5,640,000	

支 出

単位：円

科 目	25年度決算額	26年度予算額	予算に対する内容説明
1 会 議 費	121,630	150,000	
2 事 務 費	84,322	200,000	
3 老 人 福 祉 費	1,976,200	2,120,000	敬老会主催 2,000,000 3老人クラブへ助成 120,000
4 児 童 福 祉 費	170,000	170,000	地区内3保育園 60,000 築山きりんクラブ 20,000 築山小学校子供会育成 40,000 児童センター運営助成 50,000
5 災 害 見 舞 金	0	100,000	
6 研 修 費	158,310	140,000	役員研修、7地区・Bブロック研修他
7 助 成 金	140,000	140,000	築山地区民生児童委員協議会 40,000 築山学区町内会長連絡協議会 40,000 築山地区自主防災組織協議会 40,000 楯山コミュニティセンター 20,000
8 広 報 費	404,884	420,000	築山社協だよりの発行（年2回）と全世界配布
9 慶 弔 費	15,000	50,000	
10 特 別 事 業 費	838,194	950,000	地域交流行事 480,000 高齢者への激励訪問 100,000 幼児と高齢者のふれあい行事 50,000 軽スポーツレクリエーション大会 100,000 グラウンドゴルフ大会（年5回） 100,000 地域サロンへの助成 50,000 築山地区防災マップ 50,000他
11 市 社 協 納 入 金	1,157,920	1,150,000	全戸会員会費 1,116,000、特別会費他 34,000
12 基 金 繰 入	500,000	0	
13 予 備 費	10,000	50,000	
合 計	5,576,460	5,640,000	

※ 上記の外に、基金として4,000,000円の定期預金（北都銀行楯山支店）



地域みんなを  
児童を守ろう  
—安全ボランティア—

6月4日、築山小学校のお招きで「安全ボランティア感謝集会」に参加した約30名のメンバーは、会場の体育館に児童たちと手をつないで入場した（写真↑→・築山小学校提供）



下校時、児童が不審な男に声をかけられる防犯寸劇（チャイルド・セーフティセンターの出演）



児童お手製の感謝のメッセージを2枚ずつプレゼントされる安全ボランティアたち



登校時、児童の安全確保の見守りをするボランティア（楯山表町通りと秋田環状線の交差点）





### ふれ合いの町づくりに歩む —— 少子高齢化と防災に対処 ——

築山学区町内会連絡協議会  
会長 高 桑 博

ふるさとの山に向ひて言うことなし  
ふるさとの山はありがたきかな  
石川啄木

私達の築山地区では山と川のある町、  
気質もおだやかで住みよい素晴らしい  
町であります。明治16年築山小学校が  
今のスーパー・ト一屋の裏通り（榎山  
本新町上丁）の所に誕生した時、その  
向かいに揚武館と云う武道館が構築さ  
れ、文武両道に励んでいました。

この榎山は下級武士達の町であつた  
ためか、榎山精神（質素・ねばり・負  
けずぎらい）が意気づき、また榎山お  
つつあんと云われる助け合いの心を持  
つた人達が大勢おりました。地区を愛  
し曲がった心が大きらいなおじさん達  
です。また金照寺山を除いては、せい  
ぜい海拔4・5 け位よりなく、少し雨  
が降ると太平洋が氾らんし水害となり  
昔は「かまど」で御飯を作っていたの  
で食事も出来なくなり自然に向う三軒  
両隣を始め「助け合い」が生まれたと  
よく母達から聞いていました。

#### 地区内の関係団体と連携

時代も変わり太平洋の改修工事が完  
成した昭和34年当時、築山明朗会と呼  
称されていた連合町内会では、会長始

め奉仕者多数で桜並木の植樹を行ない  
今はすばらしい観桜地となり、秋田市  
随一の「川縁」とほめて下さる方もお  
ります。川沿いに住んでいて清掃して  
下さる方々や、築山桜並木保存会（現在  
築山地区市民憲章推進協議会）にて担  
当、また愛宕下・南新町・寺小路・榎  
山古川新町等、各町内会の皆様にはた  
だただ感謝で一ぱいです。

また道路計画では、平成11年3月愛  
宕下橋が竣工してから11年の歳月をか  
け市道秋田環状線の築山工区が完成し  
平成22年7月6日、穂積市長も参列の  
開通式は地区としても大きな喜びでし  
た。特に開通迄、市への働きかけも含  
め古川新町町内会始め開通にご努力下  
さつた方々に厚くお礼申し上げます。

築山地区も少子高齢化が進み（65歳  
以上が約30% 平成26年度）、安心の  
一助として救急医療情報キットの配布  
活用（一人暮らし高齢者等、異変があ  
つた時、病院への連絡、遠く離れてい  
る家族や知人への連絡方法などを記  
載）等、地区民児協との連絡情報は欠  
かせない状態となって来ました。町内  
会長連絡協議会は広報誌はなく必要事  
項を「築山社協だより」に記載を依頼  
して町内会（68町内・約5千世帯）の  
方々に周知するようにしてあります。

平成20年11月に榎山コムセンに地域  
住民約70名が参集して消火訓練を行な  
いました。一人暮らし高齢者も多くな  
り、町内に自主防災組織を作つたら如  
何との要望から出たものですが、消火  
器も持てない方が多いので単一町内会  
での組織は無理と云う町内が多く、組  
織率は50%を少し超えた程度でしたの  
で築山地区自主防災連絡協議会をこの  
機に結成スタートしました。

#### 減災に備える支え合いの心

災害は突然やってきます。平成23年  
3月11日の東日本大震災後の4月、築  
山社協では大震災義援金とし50万円を  
災害対策本部へ寄贈、総会終了後、秋  
田市地域福祉推進室から「自らの安全  
は自らが守る、自らの地は自らが守る」  
と題しビデオの放映を主体にした解説  
がありました。

この年の10月には築山小学校体育館  
に於いて築山地区ふれあい協議会主催  
で市総務部防災安全対策課の職員の出  
席を得て「大震災・水害・土砂災害か  
ら身を守る」と題し築山地区防災シン  
ポジウムを開催し、まず「自助」「共助」  
行政の「公助」について話し合いました。



第2回目の防災シンポジウム（平成24  
年・築山小学校体育館）も、「私たち  
が減災にどんな備えをすべきか」とい  
ろいろ勉強になる集会でした。  
市でも災害対策基本条例を作成、そ  
の説明も兼ねて「災害に備えた支え合  
いの地域づくり」と題して本年1月25  
日榎山コムセンで防災会議（写真）  
が行なわれました。この際防災マップ  
作成の話があり、社協、町内会長連絡  
協から各町内会長に協力を依頼、作成  
に没頭しております。これは築山地区  
の地図に町名、避難場所、標高、バス  
路線、通学路、津波浸水想定地域、消  
火栓、公衆電話等を書入れる作業です  
完成後は全家庭に配布いたします。  
いつ起きるか分からない災害、少し  
でも減災にと願うには常に思う地区へ  
の愛情、助け合いの心の大切さを常に  
持ち続けていかねばと改めて知る今日  
この頃です。（築山社協顧問・前会長

平成26年8月1日現在

### 災害時避難の要援護者リスト 市の地域への情報提供の考え方

平成24年7月1日施行の秋田市災害  
対策基本条例によると、災害時におけ  
る要援護者情報の地域への提供は、次  
の二種類があります。

①要援護者把握リスト——条例に基づ  
く本人の同意・不同意が関係ない情報  
リスト

②避難支援対象者名簿——避難支援プ  
ランに基づく本人の同意が得られた方  
の名簿

①と②の相違点を説明すると、  
①は範囲を限定して同意・不同意の関  
係がない情報で、平常時に地区内の要  
援護者を把握、災害時における安否確  
認や、避難誘導に使用することになり  
ます。

②は範囲を広くして同意者のみの情報  
です。平常時は、地区の支援体制づく  
りに活用します。災害発生時や、災害  
の恐れがある時は、安否確認や避難誘  
導に使用します。

②の避難支援対象者名簿は、地域で  
の支援体制づくりを進めるため、同意  
が得られた方の情報を町内会（会長、  
自主防災組織（隊長）、民生委員（地  
区担当））ごとにまとめたものです。

名簿の対象範囲は、居宅生活者で同  
居の家族等の支援だけでは、自力避難  
が困難な方です。

(イ) 高齢者

・ 要介護認定1以上の方  
・ 独居、高齢者のみの世帯

(ロ) 障がい者  
・ 身体障がい者、肢体不自由（1、  
2級）

・ 知的障がい者（手帳A）  
・ 精神障がい者（手帳1級）

(ハ) 難病患者  
・ 難病患者（特定疾患医療受給者証  
所持者）

・ 小児慢性特定疾患患者（重症）

・ その他（本人、家族から申出）

再び、①の要援護者把握リストに戻  
りますが、条例の特徴的な点は、同意  
者もリストアップされることです。

対象者は、長期入院、施設入所して  
いない在宅者で、次のいずれかの方。

・ 要介護認定3以上

・ 身体障害者手帳の視覚障害1級

・ 聴覚障害2級

・ 肢体不自由下肢、体幹（1、2級）

身体的な状況で、災害時、必ず避難  
誘導が必要な方になります。

個人情報保護と情報管理のため、事  
前に市とリストの受取人（民生委員を  
含む）と覚書を取り交わします。受取  
人のみで情報を止め、リストは年1回  
程度交付し、その際、古いリストは回  
収されます。

（編集委員 北條 晃）

### 築山学区町内会長連絡協議会

町内会名	会長名	住所	町内会名	会長名	住所	町内会名	会長名	住所
宮田	松田 昭夫	南通宮田12	榎山虎ノ口新町	松田 俊文	南通亀の町14	愛宕下東丁	田中 繁	榎山愛宕下8
JR宮田自治会北	佐藤 崇史	南通宮田5	南新町	高橋 安成	榎山南新町下丁44	愛宕下西丁親交会	佐藤 義孝	榎山愛宕下11
イーストハイム宮田住宅	寺田 和嗣	南通宮田14	森林管理局第71アパート	本間 家正	榎山南新町下丁54	愛宕下南丁	松淵 隆	榎山愛宕下11
築地北町	鈴木 正志	南通築地5	太 平	岡崎鋼一郎	榎山南新町下丁20	愛宕下北丁	鍋倉 道彦	榎山愛宕下8
築地東上町	村上富美子	南通築地7	牛島橋通町	伊勢谷順一	榎山南中町9	愛宕下中丁	上神谷雄二	榎山愛宕下11
築地窪町	伊藤 勝美	南通築地7	牛島橋通り南部	安藤 貢	榎山共和町5	城南町	柴田 耕三	榎山城南町3
築地上本町	伊勢 定正	南通築地10	榎山共和町	菅原 文夫	榎山共和町6	金照寺山	堀 嘉男	榎山城南町2
築地下本町	木屋 徹	南通築地14	榎山下浜町	佐藤 由松	榎山共和町22	寺小路北	内藤 眞吾	榎山愛宕下13
築地中町	吉田 正則	南通みその町5	川口境西部	猪股 竹作	榎山川口境12	寺小路南	三浦 五郎	榎山城南町1
築地西町	綿引 順一	南通みその町5	登町南部	小泉 和雄	榎山登町7	城南みなみ	堀井 満	榎山城南新町2
築地睦会	加賀屋 恵	南通築地13	川口境東部	高橋 重治	榎山川口境9	榎山石塚谷地	打矢 春信	榎山城南新町32
榎山本新町上丁	大沼 文哉	南通築地14	若草団地	木村 正美	榎山川口境16	榎 山	上野 弘子	榎山大元町9
榎山本新町下丁	高桑 博	南通みその町4	入川橋	伊藤 義和	榎山登町7	榎山石塚町	佐藤 満彦	榎山石塚町5
榎山上本町	中川 利宗	南通築地15	十軒町	夏井加代子	榎山南中町7	榎山石塚新町	小玉 宣彦	榎山石塚町23
榎山本横町	津谷由紀子	榎山本町3	米沢町	滝澤 文雄	榎山南中町8	太田町本町	樋渡 久孝	榎山太田町2
内木町	阿部廣一郎	榎山本町2	登町東部	相場 和志	榎山南中町6	太田町山水会	松本三司郎	榎山太田町3
榎山本町下丁	佐藤 茂徳	榎山本町2	登町中央部平和会	田口 学	榎山登町5	太田町東部	高橋 泰博	榎山太田町10
榎山古川新町	保坂 金雄	榎山古川新町79	登町西部	佐藤 秀一	榎山登町7	太田町睦会	渡部 茂	榎山太田町4
百石橋通り	波多野達雄	榎山字寺小路71	亀ノ町栄町	岡部かず子	榎山登町3	太田町栄町	石塚 豊	榎山太田町4
榎取町親睦会	一関 鉄雄	南通宮田19	餌刺町	坂本 光幸	榎山南中町5	太田町南町	利部 正義	榎山太田町5
末無町	工藤 裕紀	榎山本町6	九郎兵衛殿町	新城 正弘	榎山南中町6	太田町新町	阿部 惇	榎山太田町1
医王院前町	渡部 涉	榎山本町6	笹 町	福田 洋介	榎山南中町3	太田町旭町	佐藤 正	榎山太田町7
榎山広小路	竹下 隆基	榎山本町1	三枚橋町	山崎 仁子	榎山南中町9			